

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2014
9月
No.111



特集 P2・3

赤い羽根共同募金

みなさんのやさしさを募っています!!



ひ孫と
いっしょ

シリーズ110

波賀町 有賀

志水 千枝子さん(87歳)

○ 幹太くん(5歳)

○ 真子ちゃん(1歳)

志水 雅之さん・温子さん

■長男・長女

ふれあい喫茶やサロンなどの小地域福祉活動に
自治会のふれあい喫茶・サロンを通して「見守り活動」に
も役立てられています(須行名ふれあい喫茶)



赤い羽根共同募金

みなさんの「やさしさ」を募っています!!

平成25年度に宍粟市でお寄せいただいた募金の総額は、
8,682,079円でした。

そのうちの約9割の7,783,000円が、今年度の「共同募金配分金」として宍粟に戻り、宍粟の地域福祉活動に活用され“じぶんの町を良くするしくみ”として使われます。

共同募金配分金で取り組む主な事業

- 自治会福祉連絡会（小地域福祉活動助成金）への活動支援に
- 高齢者や障がい者の方の移送サービスのために
- ひとり暮らし高齢者等への配食サービスに
- 地域福祉活動に取り組む団体への助成事業「地域福祉応援助成事業」に
- 障がい者の作業所や民間保育園・所の活動費に
- 社協広報紙「こんにちは!社協です!!」の作成費に

10/1より
スタート



配食サービスの実施に



民間保育所の活動費に
(段ちびっこえん 紙芝居を購入)



移送サービス車のリース料に



赤い羽根共同募金は、みなさんのやさしさに
「穴栗のまちを良くする募金」です。
 今年も10月1日から始まりますので、
 ご協力をよろしくお願いします！



兵庫県共同募金会
 マスコット
 あかはねちゃん

あとの1割は

県内全域で広域的な福祉課題を解決するため、
 次のような活動に活用されます。

- 県内の福祉施設への活動助成金に
- 大規模な災害発生時の支援活動に

大規模な災害が起こった時に備え、各都道府県の共同募金会で「災害等準備金」として毎年積み立てられます。

そして、台風や集中豪雨等の風水害、震災など大規模災害が発生した時に災害救援活動費として活用されます。



昨年度は、穴栗でも「さつき園」(山崎町五十波)が共同募金の助成金で送迎車を購入されました

災害ボランティアセンターの設置・運営費にも活用されます
 (丹波市災害ボランティアセンター)



みなさんから
 お寄せいただいた募金の
9割は穴栗に

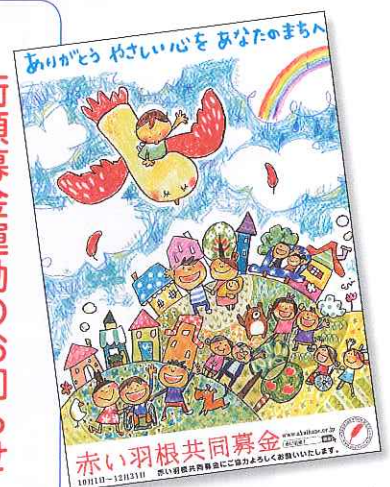


昨年は聖旨保育園の子どもたちや作業所のみなさんと募金をよびかけました(H25.10.1 咲ランドショッピングセンター)

- ・Aコープ山崎店 午前10時～
- ・道の駅播磨いちのみや 午前10時30分～
- ・Aコープ波賀店 午後4時30分～
- ・Aコープ千種店 午前11時～

10月1日(水)

街頭募金運動のお知らせ
 穴栗市共同募金委員会では、共同募金運動期間中に、市内のイベントや大型店舗等の入口で、募金推進委員やボランティア、保育園児、作業所に通うみなさんと一緒に「街頭募金」を呼びかけます。
 ご協力をよろしくお願いします。



今年はこのポスターが目印です

や

まさき

介護者で気軽に集まる活動へ

『花みずきの会』



「みなさんの介護力はすごいな」と保健師

今年4月から、山崎在宅介護者のつどいが「花みずきの会」として生まれ変わりました。参加者で新たな名称を募り、偶数月の第3水曜日を定例日として活動に取り組んでいます。

8月20日(水)

穴栗防災センターで開催した活動では、穴栗市地域包括支援センターの栗山早苗保健師を

招き、穴栗市の介護サービスについて話を聞きました。

サービスが、どのように利用できるかや申請の方法、負担額などの説明を受け、積極的に質問をされる参加者の姿が見られました。

参加者からは、「外出することがほとんどないから、こんな機会が嬉しいわ。」「ここに来て、いろいろな勉強になるわ。」「次回も楽しみにしとるでな。」などの声が聞けました。

今後も介護者が気軽に集まって情報交換やリフレッシュできる「場」になるよう支援していきます。

(山崎支部 横山洋子)

「花みずきの会」からのお知らせ

日時: 10月15日(水)
11:00~13:00
内容: お食事会
お弁当を持って外出
場所: 夢公園
参加費: 500円(お弁当代)
問合せ: 山崎支部

い

ちのみや

いっしょにつくった夏の思い出

伊和自治会とはりま自立の家

「ドン・ドン・ドン!」
威勢のいい太鼓と音頭が、会場に響き渡ります。

8月24日(日)、日暮れ時から、伊和にあるはりま自立の家で「交流盆踊り大会」が行われ、子どもからお年寄りまで約130人が福引きやヨーヨー釣りなど楽しい時間を過ごされました。

今年が15回目となった交流盆踊り大会は、伊和のみなさんが入居者の車いすを押して、「一緒に踊って楽しもう」との思いで企画されたものです。

住民と入居者のみなさんがひとつの大きな輪になって、過ぎ行く夏を満喫される姿が印象的で、「一緒に踊れてうれしい。夏の思い出が増えるね」と入居者の岸本博貴さん。

伊和自治会には、たくさんの竹林があり素麺業を営む方がおられたため、こ



住民が車いすを押して、一緒に盆踊り♪

れを活かしたそうめん流しが交流の始まりでした。今では、カラオケ大会やオープンハウスなどの交流も行われています。

これからも、みなさんの思い出となる楽しい交流を長く続けていって下さいね。

(本部・二宮支部 三宅あゆみ)

は
が



「毎月変わるメニューが楽しみ」体操の後はふれあい喫茶でひと休み
(JAハリマふれあい館)

「ゆめふうせん」活動日

日 時: 毎週月曜日・木曜日
9:00~11:30

メニュー: モーニングセット
¥300

場 所: JAハリマ
波賀ふれあい館

この日は、波賀保健福祉課の保健師による「いきいき百歳体操」がおこなわれ、終了後は「運動したあとやでよいけいにおいしいなあ」とお話ししながら、いつものお茶を楽しまれています。

「せっかくお年寄りが集まるんやで、お茶を飲んで体操もできたらええなと思つて」と代表の岡本輝美さん。

毎月のイベントを工夫したり、町内の公民館へ出前喫茶に行ったりと、活動の幅が広がっています。これからも地域の憩いの場が居心地のよい場所となるよう活動を応援しています。

(波賀支部 平有利菜)

憩いの場を居心地のよい場所に

ふれあい喫茶 ゆめふうせん

8月25日(月)、JAハリマふれあい館(上野)でふれあい喫茶、「ゆめふうせん」が行われました。

「買い物や通院されたお年寄りが気軽に立ち寄れる場所を作りたい」との思いで、昨年7月に4人のメンバーで結成されたゆめふうせん。誰でも参加できるオープン喫茶となっています。

「せつかくお年寄りが集まるんやで、お茶を飲んで体操もできたらええなと思つて」と代表の岡本輝美さん。

寄ることが大事!

中島福祉連絡会

8月11日(月)、中島福祉連絡会が開催され、福祉委員をはじめ、自治会役員や女性部、老人クラブの役員、地域づくり学習委員の12人がコミュニティセンター(公民館)に集まりました。

8月29日(金)には2回目の連絡会が持たれ、今後の取組みについて話し合いました。

寄つて話し合うことで、いろいろな「気づき」が見えてきました。この「気づき」を生かした取り組みを中島で進めていきます。



ホワイトボードで意見を確認しながら話し合いが進みました(中島コミュニティセンター 8.29)

ち
くさ

中島自治会は今年度から2年間、本会の小地域福祉活動モデル地区の指定を受けており、この日はモデル地区の説明や活動していくにあたり、自治会の現状について話し合いました。

「役は増えるし、担い手は減るばかりで、どう活動を続けていけばいいのか」と副会長の河津光重さん。

同自治会は38戸100人余りと小規模で、隣保の役もすぐに回ってきます。

「限られた人数やでまとまりがええ」「中島には設備が整ったええ公民館がある」など、さまざまな意見

(千種支部 小原志のぶ)



ふれあい郵便「あいめ〜る」

おたより ボランティア 募集!



波賀支部では毎月町内の65歳以上の方へお手紙を届けるふれあい郵便“あいめ〜る”を行っています。

ボランティアのみなさんにお手紙を書いていただき、民生委員児童委員の協力を得て希望される方へお届けしています。

現在39人が利用されています。このおたよりを書いていただくボランティアを募集します。

お手紙を書いていただける方は、波賀支部(75-3631)へご連絡ください。



(波賀支部 坂本幸子)

ボランティア センター日誌

姫路の「くのいち」アイドル 宍粟に参上!



姫っ娘5(ひめっこファイブ)のステージ 寸劇もありました

8月31日(日) 第9回やまさきボランティアフェスタ

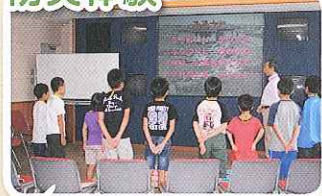
山崎ボランティア連絡会と宍粟市社協主催の「やまさきボランティアフェスタ」が宍粟防災センターで開催され約500人の参加がありました。

今年は姫路のアイドル「姫っ娘5」のステージがあり、みんなで盛り上がりました。参加者からは、「見ていると元気になるな」などの声が聞こえました。ボランティアコーナー・作業所コーナーでは活動のPRを兼ねた展示即売が行われ、来場者との交流も深まるにぎやかな一日となりました。(山崎支部 横山洋子)

夏休みに いろいろ体験しました! サマーボランティア 2014

夏休みを利用して8種類の福祉活動体験教室を開催し、延べ126名の児童、生徒が参加しました。その一部を紹介します。

防災体験



★地震体験をやってみて、地震はとても怖いということあらためて感じた(小6年・女子)

福祉体験



★乗っている人が怖くないように気をつけておしてあげたい(小4年・男子)

手話体験



★たくさんの手話や色々なゲームができてうれしかった(小2年・女子)
★手話が通じると嬉しいコミュニケーションがうまくって便利だと思った(一般女性)

自分の生年月日を表してみよう

災害の怖さをお話や映像、体験で学びました

盲導犬について知ろう



アイマスク体験や盲導犬について学びました

★体験して、目が見えなくてとても怖かったです。病気にたちむかうのはすごいと思った(小2年・女子)

お詫び

No.110号 輪っしよいボランティアで宍粟市社協ボランティア活動助成金「117グループへ助成」と掲載しましたが、「117グループ」は特定のグループ名を指すものではありません。ボランティアセンターに登録され申請のあった「117」団体のボランティアグループへ助成しました。まぎらわしい標記でご迷惑をおかけしました。関係団体のみなさまへ深くお詫びいたします。